

講義の概要（前半）「リズム楽器に親しむーパーカッションの特徴と奏法ー」

「音楽あそびと実践」の講座の前半では、子どもの音楽には欠かせない楽器「パーカッション」について、その特徴と奏法を、楽譜と映像を使って解説します。

学びのポイント

- ・音色の比較や、良い音を出すためのポイント、実際のリズムパターンの例など、楽譜と映像で確認する。
- ・各楽器の由来や構造を理解する。
- ・パーカッションの魅力を再発見する。



講義の概要（後半）「打楽器を用いた即興活動」

手作り楽器や民族楽器、音の出るおもちゃ、身近な素材を使って、一緒に即興活動に取り組みましょう

学びのポイント



- ・ 子どもの即興表現の芽生え
- ・ 即興活動の実践例“ドン”と“シャラシャラ”
- ・ 布ガムテープを使用した手作り太鼓
- ・ 即興活動をリードする役割と伝わる指揮







1. リズム楽器に親しむ

-パーカッションの特徴と奏法-

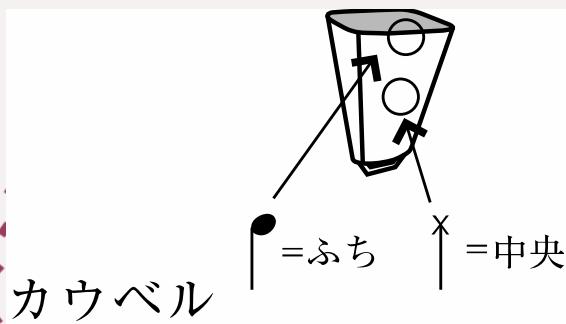
- 
- 
- 講座の前半では、音楽に素敵な彩りを添える楽器「パーカッション」について、その特徴と奏法を、楽譜と映像を使って解説していきます。

- 
- 
- パーカッションは歌と並んで、子どもの音楽には欠かせない存在です。
 - パーカッションに親しみ、魅力を再発見して、音楽あそび、アンサンブルに役立てていきましょう。
 - 講座の前半では、日頃から親しみのある楽器を中心に、パーカッションの特徴と奏法を解説していきます。

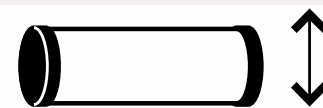
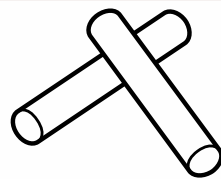
(講座前半の楽譜と挿絵は、カワイ出版刊「こどもの歌93」より転載)

それぞれのパーカッションの特徴と奏法

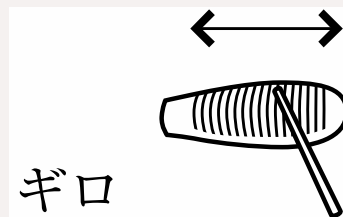
下記のパーカッションについて、解説します。



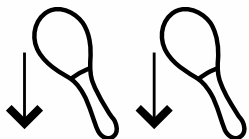
クラベス (音を響かせて)



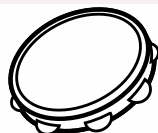
シェイカー
(上下に動かしながら
前後に降る)



ギロ



マラカス (振り過ぎず音を切って)



タンブリン (振りながら=>はワク打ち)

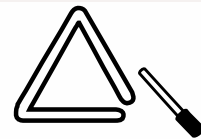
バスドラム (大太鼓) 又はバスタム



スネア・ドラム (小太鼓)

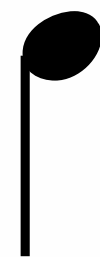
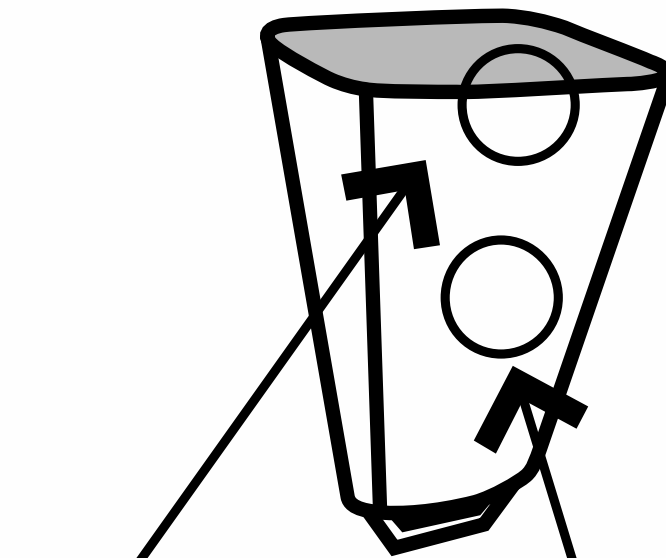


トライアングル



(講座前半の楽譜と挿絵は、カワイ出版刊「こどもの歌93」より転載)

カウベル cowbell (英)



=ふち



=中央

- カウベルです。
- カウベルは、放牧する牛などの首につるすベルが由来なんですね。
- よく「牛の鼻につるす」という人がいますが、それだと牛も痛いでしょうね・・・。
- さて、音色を聴いてみましょう。



実際に、スティックを用いてたたいてみます。
楽器のたたき位置（ふちの音、中央の音）を比べて
みましょう。



ふちの音。

中央の音。

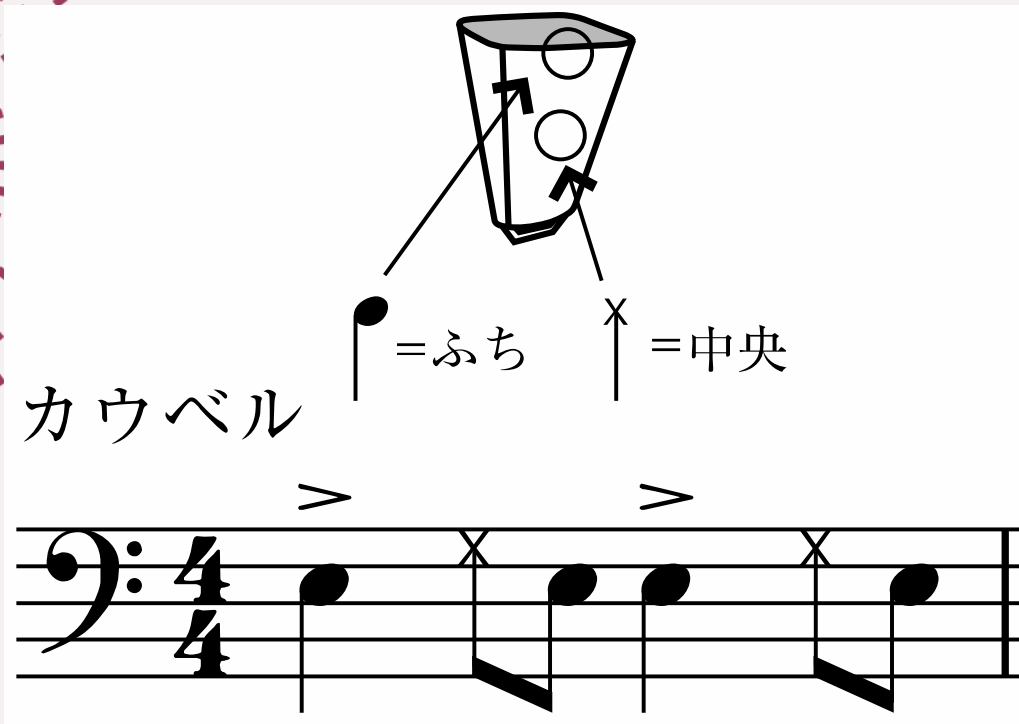
この2つの音色を組み合わせせて演奏します。

それでは、カウベルの楽譜のパターンを演奏してみます。

【演奏のコツ】

スティックだけでなく、**楽器本体も動かす**と、スムーズに演奏できます。

(リズムパターンは**4小節間**演奏します)



カウベル

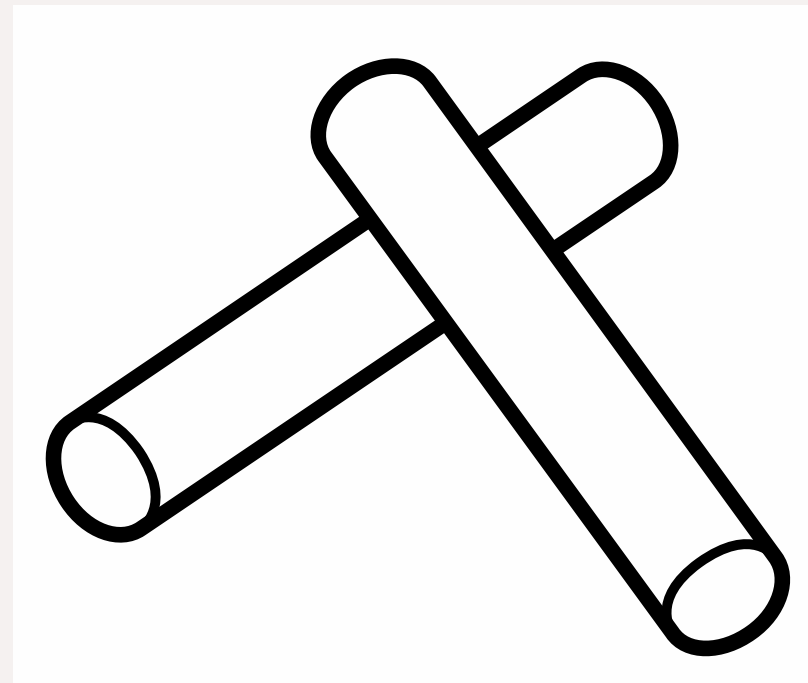
=ふち =中央

4/4

The diagram shows a cowbell with two arrows: one pointing to the rim labeled '=ふち' and one pointing to the center labeled '=中央'. Below it is a musical score in bass clef, 4/4 time, consisting of four measures. The first measure has a quarter note on the second line with an accent (>). The second measure has a quarter note on the second line with an 'x' above it. The third measure has a quarter note on the second line with an accent (>). The fourth measure has a quarter note on the second line with an 'x' above it.



クラベス
claves (西)



- クラベスです。
- クラベスは、縦に持って打つと、「火の用心！」で使う拍子木の音に似ています。



- 通常は横に持って使用します。
- なお、**クラベス**はしっかり握ると良い音が出ません。
- そこで、片方の手に乗せるようにセットし、もう片方の手で打つと、よい響きが出します。

(音の違いを、よく**クラベ**てみてください...)



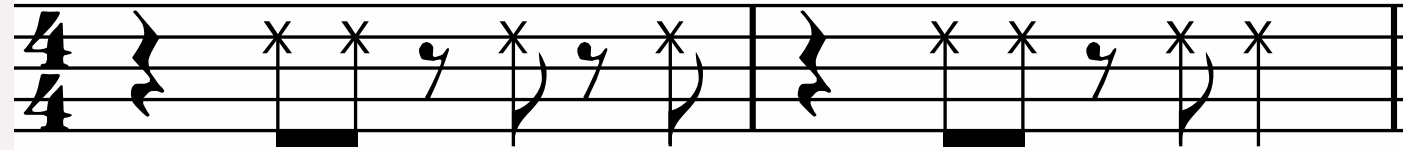
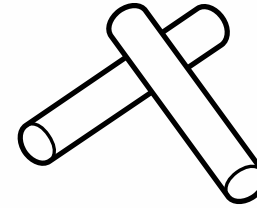
それでは、クラベスの楽譜のパターンを演奏します。

【演奏のコツ】

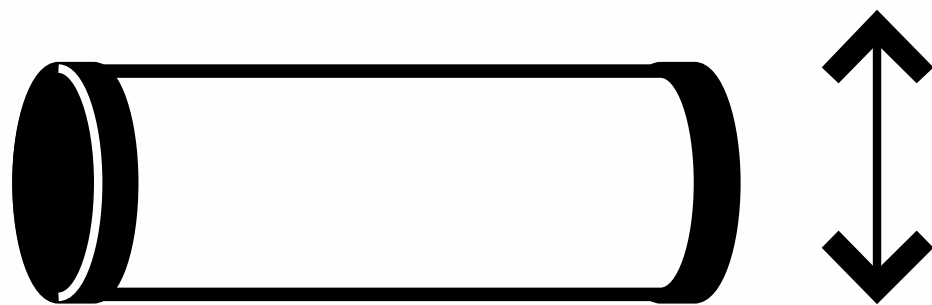
片方の手に乗せて、
もう片方の手で打つと
よい響きがします。

1拍目が休符なので
よく聴いてください。

クラベス (音を響かせて)



シェイカー
shaker (英)



- シェイカーです。
- 筒の中に粒が入っています。
- それを、向こう側に投げようようにして、壁で受け止めるようなイメージで振ると、歯切れの良い響きがします。



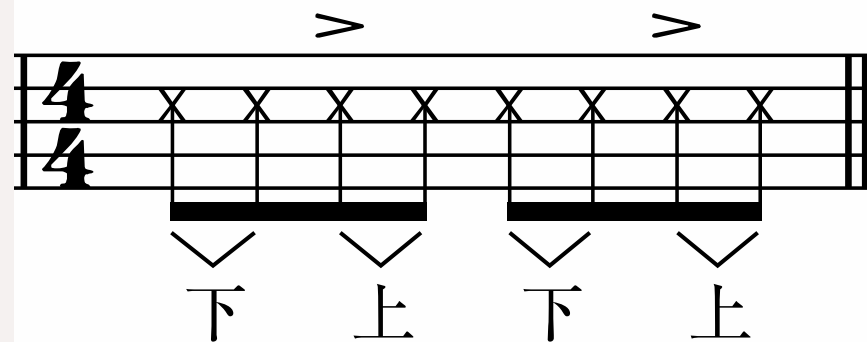
シェイカーの楽譜のパターンを演奏します。

楽譜に書いてあるように、上下に動かしながら前後に振ります。

特にアクセントの位置で、歯切れの良い音を出すようにします。

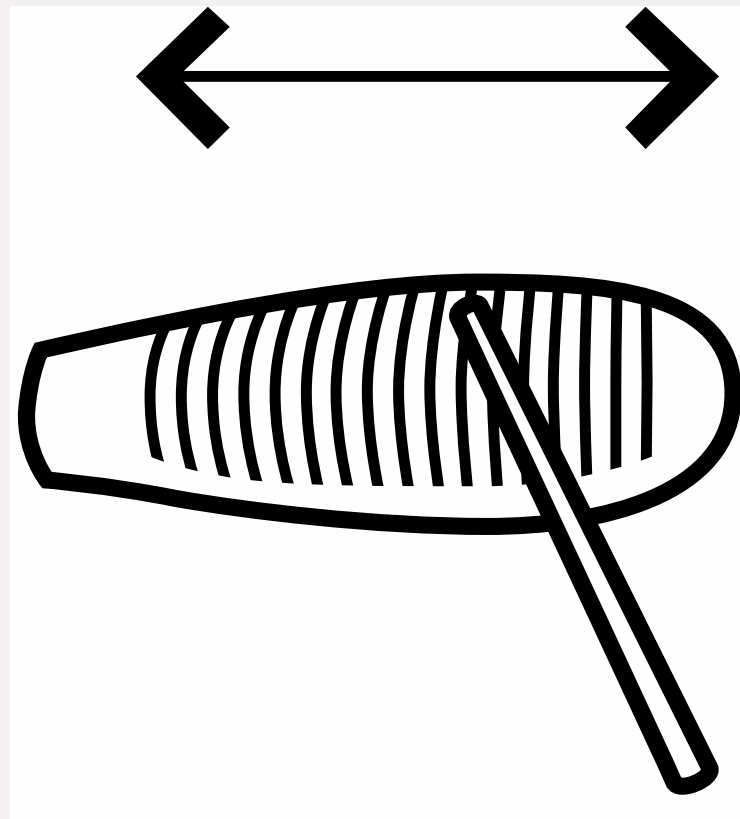


(上下に動かしながら
シェイカー 前後に降る)



ギョ (グイロ)

güiro (西)



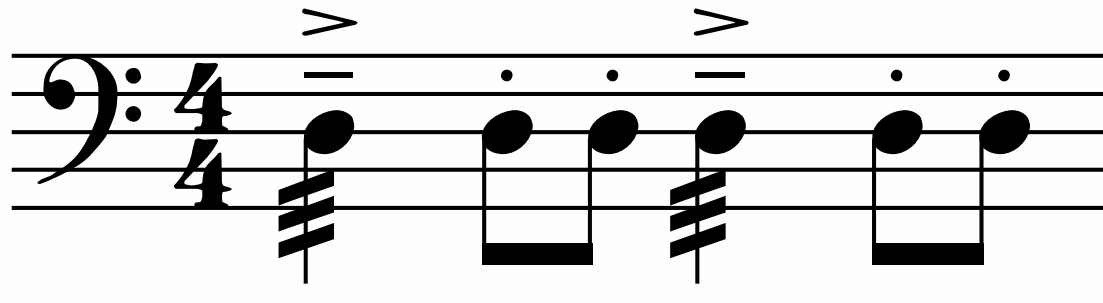
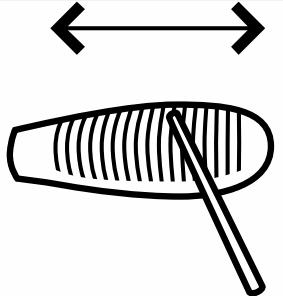
- ギロです。
- 顔みたいですわね。
- ギロツとにらんでいるからギロ・・・というわけではないんですよ。
- スティックでこすったり、たたいたりして音を出します。



それでは、ギロの楽譜のパターンを演奏します。

(3本の斜線が入っている) トレモロの4分音符では、ギーッ！とこすり、スタッカートで8分音符ではトントンとたたきます。

ギロ

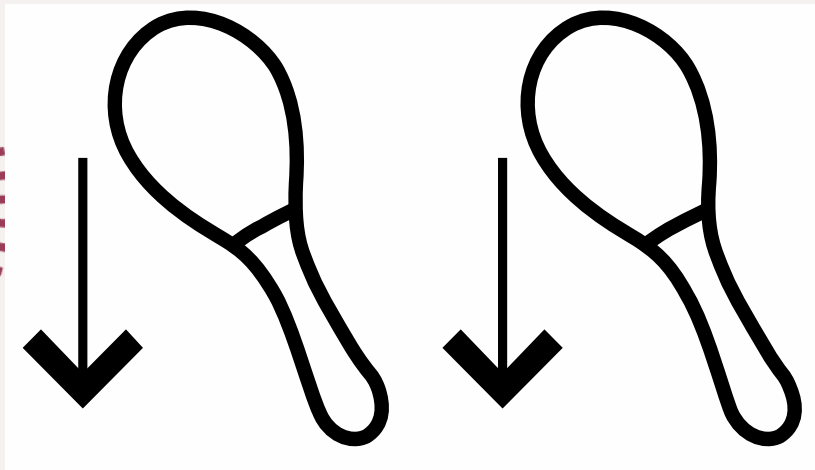


マラカス

maracas (西)

ヤシ科のマラカの実を乾燥させ、振ると中に残った種子が音を出す。

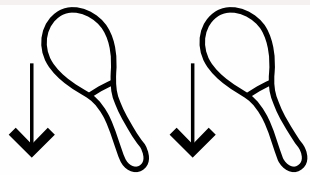
ふつう2個1組で音をだすので、マラカスと複数形でよばれる。



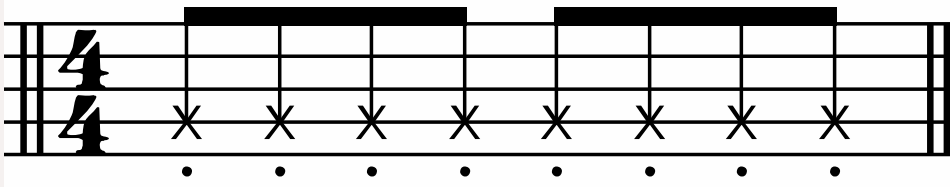
- マラカスです。
- 中に粒が入っています。
- 2個ひと組で使うため、**複数なので、マラカス**。
- つまり片方だけなら**マラカ**。
- 両方合わせて使うので、**マラカス**というんですね。



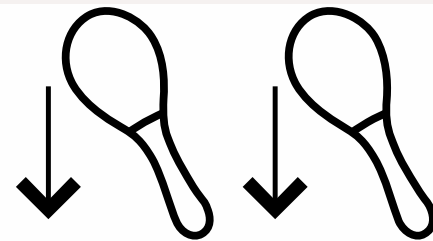
楽譜にも書いてあるように、音を切るように演奏します。
そのためには、このように楽器を振り過ぎず・・・、
このように中身の種子（粒）を落とすようにすると、
歯切れの良い音が出ます。



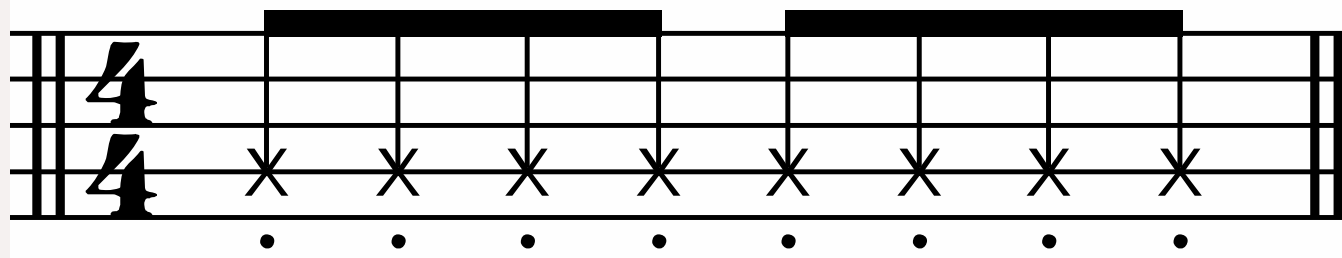
マラカス(振り過ぎず音を切って)



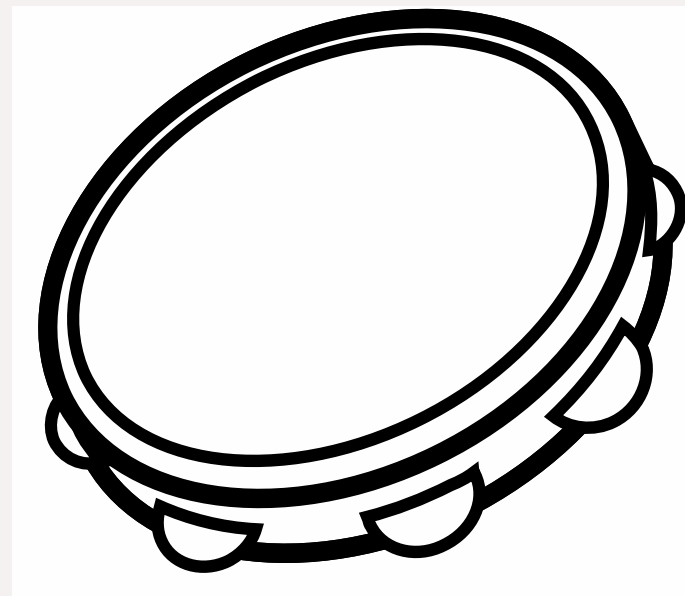
そのようなことに気をつけて、マラカスの楽譜のパターンを演奏してみます。



マラカス (振り過ぎず音を切って)



タンブリン
tambourine (英)



- タンブリンです。
- 子どもの音楽にも定番の楽器ですね。
- このように、振るだけでも金属製の円盤がにぎやかな音を出します。

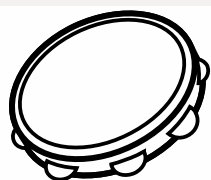


- 左右に振るだけで、リズムが刻めます。
- さらに、皮をたたくと、皮と金属の両方が鳴ります。



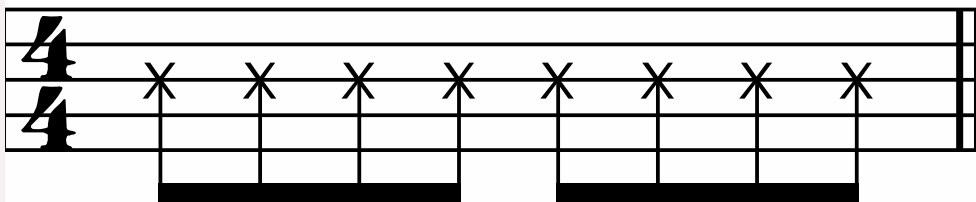
タンブリンの楽譜のパターンを演奏します。

(楽譜には、アクセントの箇所はワク打ちと書いてありますが、今回は、皮をたたきます)



タンブリン(振りながら>はワク打ち)

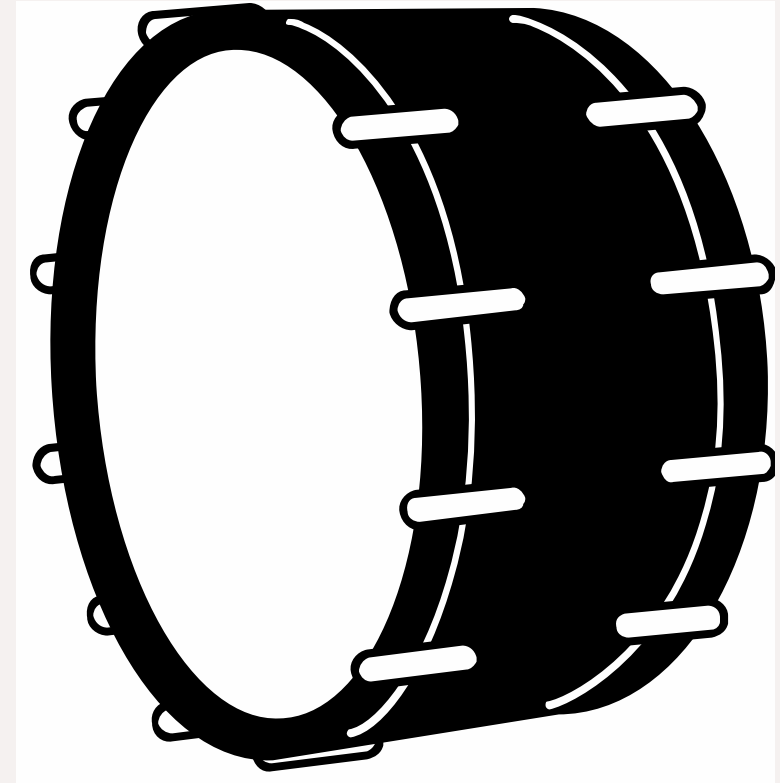
> >





バスドラム
(大太鼓)

bass drum (英)



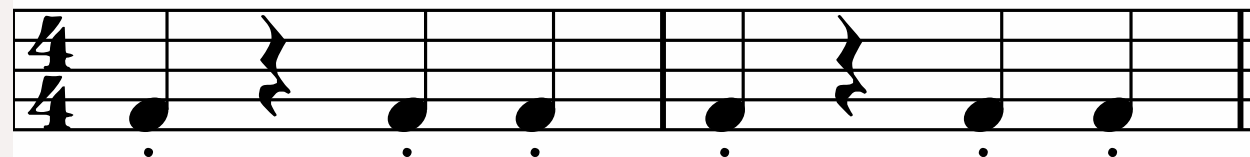
- バス ドラム（大太鼓）です。
- そのままたたくと、音が、かなり長くのびます。
- 今回は、反対の手で膜面を押さえてミュートした状態で、スタッカートでたたきます。



バスドラム（大太鼓）
の楽譜のパターンを演
奏します。

楽譜のように、膜面を
おさえながら、スタッ
カートで演奏すること
により、適度なアタッ
ク感を出すことができます。

バスドラム（大太鼓）又はバスタム



（・ミュート＝皮をおさえて打つ）



スネア・ドラム
(小太鼓)

snare drum (英)



- スネア・ドラム（小太鼓）です。
- 何もしていない状態ではこのような音色ですが、楽器の裏の響き線（スネア）を張ると、シャープな響きになります。



- また楽譜の「リム打ち」について説明します。
- スティックの先端で楽器の枠をたたくと、このような音、スティックの根元で皮の部分をたたくと、このような音がします。
- これを同時に行い、楽器にスティックを押しつけるようにして、カンツ！という甲高い響きになるように演奏します。

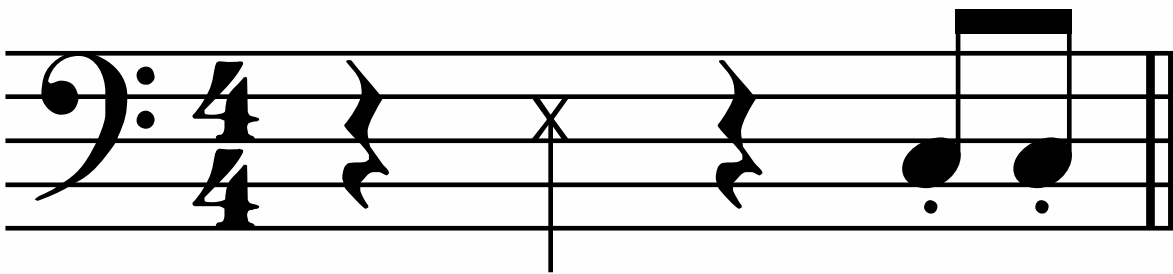


スネア・ドラム（小太鼓）の楽譜のパターンを演奏します。

リム打ちの箇所は、しっかりと音を響かせます。

1拍目が休符なのでよく聴いてください。

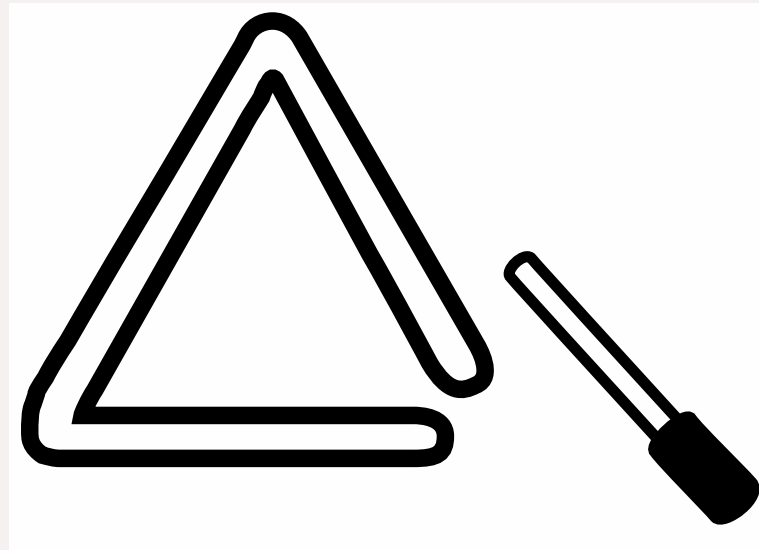
スネア・ドラム（小太鼓）



（リム打ち）（スネアオフ）



トライアングル
triangle (英・仏)



- トライアングルです。
- このように指にぶら下げて演奏します。
- トライアングルというのは、英語で「三角形」という意味ですので、金属の棒を三角形に折り曲げてあるので、そのまま楽器の名前になっています。



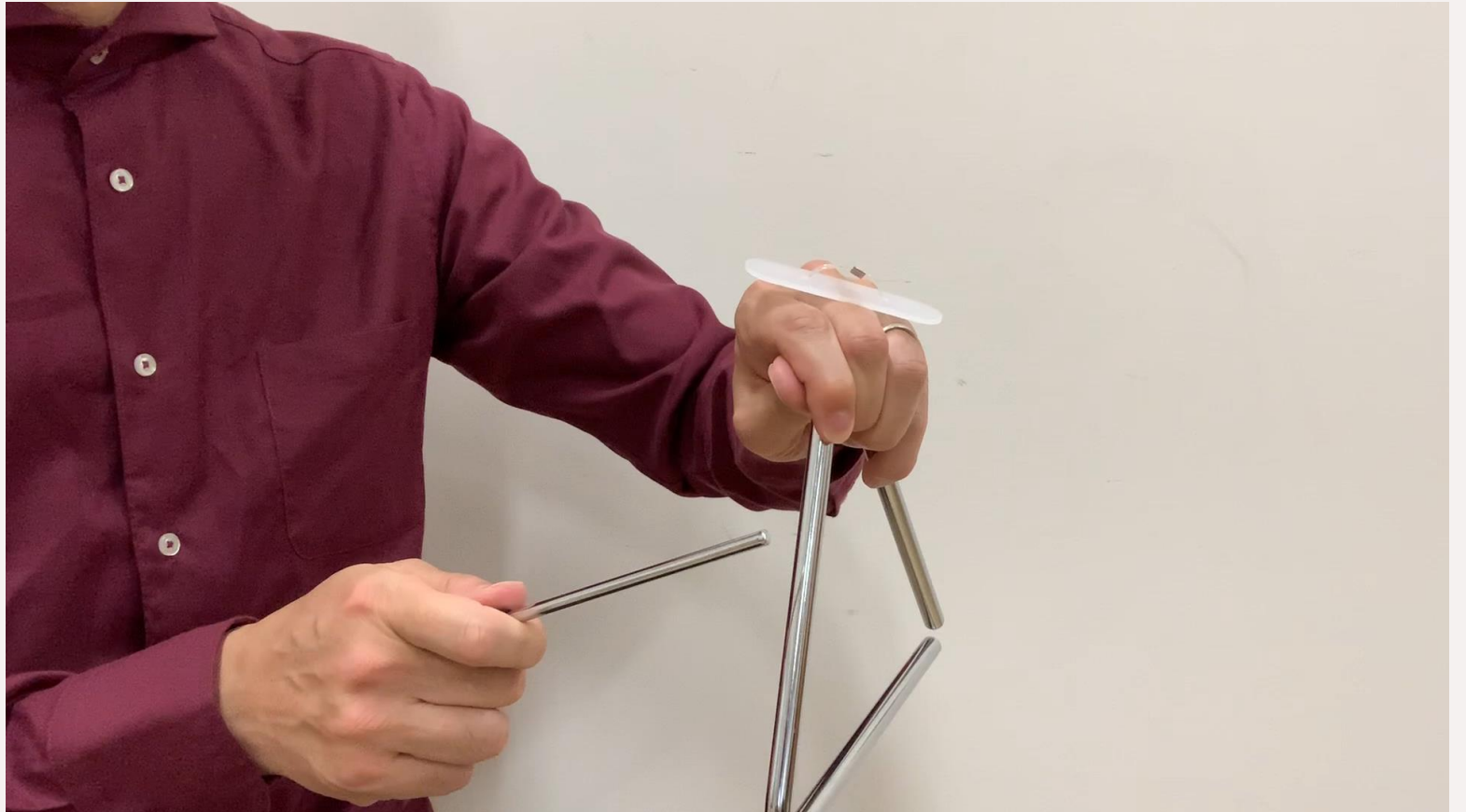
普通にたたくと・・・

音が減衰しながら

長く持続します。



- 一方、楽器を持っている方の手で握ってたたくと、短いミュートの音が表現できます。

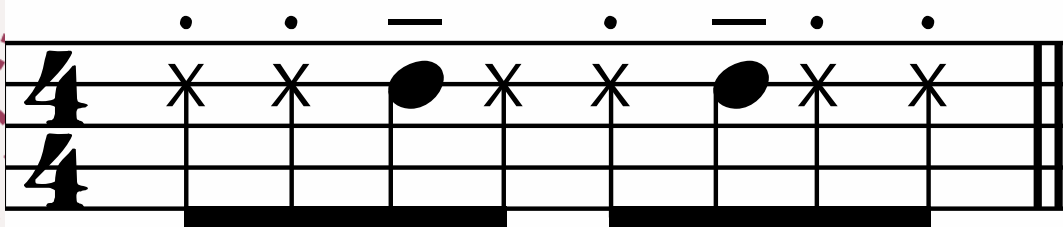


この2つの音色を織り交ぜて、トライアングルの楽譜のパターンを演奏します。

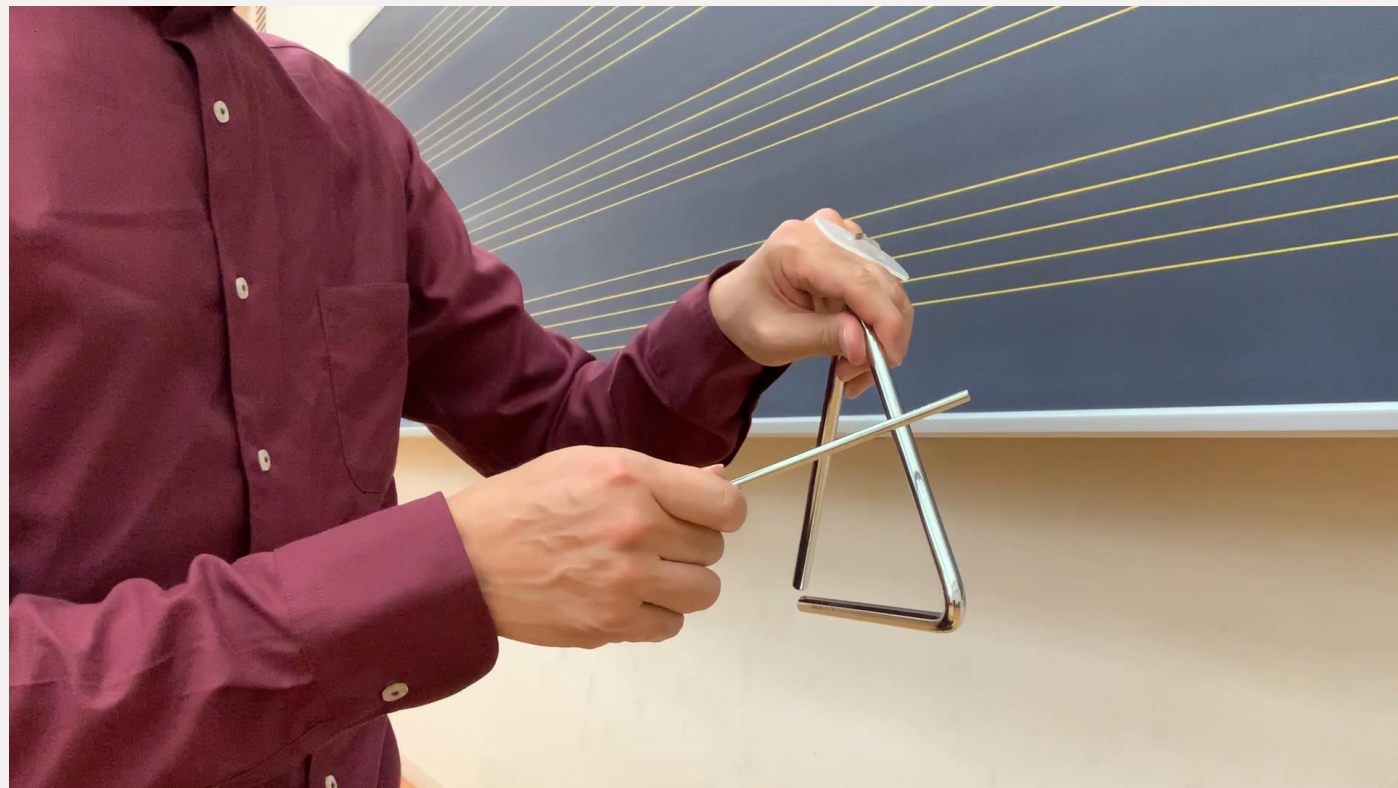




×印のミュートの箇所は、楽器を持っている方の手で握って、音を止めて演奏します。



トライアングル 



× = 止めて 〰 = オープン



- 
- 
- 講座の前半では、子どもの音楽表現に欠かせない楽器「パーカッション」について、その特徴と奏法を、楽譜と映像によって解説しました。

- 
- 
- 実際にこのような楽器がすべて揃わなくても、そのときに用意できる楽器や、手作り楽器などで、この内容を応用してみてください。
 - 今回の講座でご紹介した内容を、音楽あそび、アンサンブル等の実践の機会を通して、保育現場において活用していただければ幸いです。



1. リズム楽器に親しむ

-パーカッションの特徴と奏法-

2 - 1. 即興とは？

- ◆ 即興とは、
楽譜などに頼らずにただちに演奏されること
創作と演奏を同時並行で行うこと
- ◆ 子どもを観察すると、
音や言葉、身体の動きを使って、
自由に表現している
そういった行動は、即興表現といえる

2 - 2. 子どもの即興的な表現

- ◆ 子どもの生活や遊びの場面から即興表現を考える
 - 音ーおもちゃを打ち付ける、楽器を使って試行する
 - 言葉ーリズムカルな言葉を唱える
 - 身体ー音楽に合わせて自由に動く
- ◆ 子どもの即興表現は、
思いもよらない方法で発せられる
- ◆ 子どもの行為を丁寧に観察し、見守り、
即興的な表現を認めていこう

2 - 3. 即興的な活動にチャレンジ（演奏）

- ◆ 打楽器を使った即興的な活動に取り組もう
- ◆ 即興活動では、子どもでも簡単に音が出せる
打楽器を用いてみよう
身近な素材を使用してもよい
- ◆ 今回は、
“ドン”（短い音）と“シャラシャラ”（長い音）
2つの対照的な音に注目

2 - 3. 即興的な活動にチャレンジ（演奏）

- ◆ “ドン”（短い音）が特徴的な楽器の例
太鼓類、カスタネット、ウッドブロック、
ゴミ箱ドラム
- ◆ “シャラシャラ”（長い音）が特徴的な楽器の例
すず、トライアングル、ギロ、
手作りマラカス、新聞紙やビニール袋
- ◆ 両方の特徴がある楽器
タンブリン

2-3. 即興的な活動にチャレンジ（演奏）

- ◆ ゴミ箱ドラムとは、ポリバケツの内側に放射線状に布ガムテープを張り付けてつくった楽器
- ◆ 紙ガムテープではなく、布ガムテープを使用
ガムテープがピンと膜になるように張る
- ◆ 大太鼓のばちやサランラップの芯で叩く
バケツや洗面器でも可能



2 - 3. 即興的な活動にチャレンジ（演奏）

- ◆ 身近にあるものを使って即興活動に取り組もう
- ◆ 身近にあるもので音を出して、活動に参加してください
新聞紙、ビニール袋、プラスチック製品、
どんなものでも構いません
(危険がないものを選んで下さい)
- ◆ 動画を一時停止して、
“わたしの楽器”を準備してください

2 - 4. 即興的な活動にチャレンジ（指揮）

- ◆ 身近な人に協力してもらい、指揮者にチャレンジしよう
- ◆ 指揮をする際のポイント
 - ① 打点を明確にする（音を出すタイミング）
 - ② 音を出す前に息を吸う（長い息と短い息）
 - ③ 演奏する人の目を見る（一緒に演奏している気持ち）



2-5. まとめ

- ◆ 即興活動の利点は、
楽譜を使用せずに行え、子どもたちが活動に集中する
- ◆ 役割を交代することで、
子ども自身がリーダー（指揮者）となることも可能
- ◆ 音楽の基本である、
他者と音や呼吸を合わせることが体験できる



ご視聴ありがとうございました

